

# 地域社会と連携を図り、共生社会の実現へ 全日本同和会 東京都連合会 令和7年度 研修大会 開催



研修大会は、新宿区立四谷区民ホールにて620名の参加を以て開催された。大西洋平衆議院議員をはじめ、都議会議員、区議会議員、そして全国より駆けつけて下さった全日本同和会本部役員、各県役員の御臨席を賜った。

白井都連理事の司会で始まつた研修会では、千村副会長が開会の言葉で、人権尊重の意識が低下し、特に同和地区住民のみんなが所得を高める活動をしよう。同和地区と隣の社会が、心から手を結ぶことが出来る行政をさせよう。同和地区すべての能力を開拓し、立派な社会となるための活動をしよう。

都連会長挨拶で古賀都連会長は、同和問題完全解決に向けた道標の一つとして、差別行為に対する罰則規定の伴つた条例の制定と、学校教育において人権教育や多様性に関する教育を必修化し、その教育を継続することにより差別を抑止する力を高めてゆくことも、我々運動団体と行政、市民が協力して実現すべき課題であるとし、学校教育を受ける過程で差別や偏見に関する理解を深めることが、同和問題という国民的課題を完全解決するために絶対必要だと述べた。また、全日本同和会のスローガン「子らにはさせまい」この思いの通り、必ず私達の世代で同和問題をはじめとするあらゆる差別を解決し、次世代へ持ち越してはならないと力強く訴えた（古賀会長の挨拶は下段に全文掲載）。

御臨席を賜つた大西洋平衆議院議員は、来賓祝辞にて、インターネット上での差別行為に対し、その解消へ向けしっかりと取り組んでゆくと述べられた。

6月3日、都内新宿区で「全日本同和会東京都連合会令和7年度 研修大会」が開催された。都内各支部会員をはじめ、企業担当者が参考するとともに、多くの来賓を迎えて開催された研修大会で古賀都連会長は、次の世代に部落差別、人間差別を決して残さないよう運動に邁進してゆくと力強く表明、引き続き研修やセミナーを開催して、会員のスキルアップやキャリア支援を充実させるとした。

司会をする白井勝章理事

力をする覚悟で運動に邁進してゆく」と、研修会開催の意義を込めて開会を宣言した。

都連会長挨拶で古賀都連会長は、同和問題完全解決に向けた道標の一つとして、差別行為に対する罰則規定の伴つた条例の制定と、学校教育において人権教育や多様性に関する教育を必修化し、その教育を継続することにより差別を抑止する力を高めてゆくことも、我々運動団体と行政、市民が協力して実現すべき課題であるとし、学校教育を受ける過程で差別や偏見に関する理解を深めることが、同和問題という国民的課題を完全解決するために絶対必要だと述べた。また、全日本同和会のスローガン「子らにはさせまい」この思いの通り、必ず私達の世代で同和問題をはじめとするあらゆる差別を解決し、次世代へ持ち越してはならないと力強く訴えた（古賀会長の挨拶は下段に全文掲載）。

御臨席を賜つた大西洋平衆議院議員は、来賓祝辞にて、インターネット上での差別行為に対し、その解消へ向けしっかりと取り組んでゆくと述べられた。

さて、現在の「人権」を取り巻く状況ですが、女性、子供、高齢者、障がい者、同和問題、外国人等をめぐる様々な人権問題が重要

行政機関における人権への配慮が欠ける事案が増えていることに言及。これは人権教育・啓発活動を疎かにした所以であるとし、「差別の無い、人権が尊重される社会にするために、我々は最大限の努

めをいたしました。私は、考へております。特に、差別の被害が生じております。私は、このような人権問題が発生している背景のひとつに、人々の中にある同質性や均一性に捉われる性向や非合理的な因習意識の存在があると思います。

我々全日本同和会東京都連合会は、全日本同和会のスローガン「子らにはさせまい」この思いの通り、運動に邁進してゆく覚悟です。会員の皆様には、従来どおり地域社会との連携を強化していくべきながら、共生社会の実現を目指した活動を通じて、地域住民との交流を深めていただき、我々運動団体は、地域社会における差別問題の解消に向けた対話を深め、差別により被害を受けた方の支援体制強化を目指して行きました。

それでも、差別防止のために公的な

規制が実り多く、意義深いものになりましたことと、ご参加いただきました。

本日は、ご出席いただき、誠に

6月3日、都内新宿区で「全日本同和会東京都連合会令和7年度 研修大会」が開催された。都内各支部会員をはじめ、企業担当者が参考するとともに、多くの来賓を迎えて開催された研修大会で古賀都連会長は、次の世代に部落差別、人間差別を決して残さないよう運動に邁進してゆくと力強く表明、引き続き研修やセミナーを開催して、会員のスキルアップやキャリア支援を充実させるとした。

研修大会は、新宿区立四谷区民ホールにて620名の参加を以て開催された。大西洋平衆議院議員をはじめ、都議会議員、区議会議員、そして全国より駆けつけて下さった全日本同和会本部役員、各

県役員の御臨席を賜つた。

白井都連理事の司会で始まつた研修会では、千村副会長が開会の言葉で、人権尊重の意識が低下し、特に同和地区住民のみんなが所得を高める活動をしよう。同和地区と隣の社会が、心から手を結ぶことが出来る行政をさせよう。同和地区すべての能力を開拓し、立派な社会となるための活動をしよう。

都連会長挨拶で古賀都連会長は、同和問題完全解決に向けた道標の一つとして、差別行為に対する罰則規定の伴つた条例の制定と、学校教育において人権教育や多様性に関する教育を必修化し、その教育を継続することにより差別を抑止する力を高めてゆくことも、我々運動団体と行政、市民が協力して実現すべき課題であるとし、学校教育を受ける過程で差別や偏見に関する理解を深めることが、同和問題という国民的課題を完全解決するために絶対必要だと述べた。また、全日本同和会のスローガン「子らにはさせまい」この思いの通り、必ず私達の世代で同和問題をはじめとするあらゆる差別を解決し、次世代へ持ち越してはならないと力強く訴えた（古賀会長の挨拶は下段に全文掲載）。

御臨席を賜つた大西洋平衆議院議員は、来賓祝辞にて、インターネット上での差別行為に対し、その解消へ向けしっかりと取り組んでゆくと述べられた。

さて、現在の「人権」を取り巻く状況ですが、女性、子供、高齢者、障がい者、同和問題、外国人等をめぐる様々な人権問題が重要

行政機関における人権への配慮が欠ける事案が増えていることに言及。これは人権教育・啓発活動を疎かにした所以であるとし、「差別の無い、人権が尊重される社会にするために、我々は最大限の努

めをいたしました。私は、考へております。特に、差別の被害が生じております。私は、このような人権問題が発生している背景のひとつに、人々の中にある同質性や均一性に捉われる性向や非合理的な因習意識の存在があると思います。

我々全日本同和会東京都連合会は、全日本同和会のスローガン「子らにはさせまい」この思いの通り、運動に邁進してゆく覚悟です。会員の皆様には、従来どおり地域社会との連携を強化していくべきながら、共生社会の実現を目指した活動を通じて、地域住民との交流を深めていただき、我々運動団体は、地域社会における差別問題の解消に向けた対話を深め、差別により被害を受けた方の支援体制強化を目指して行きました。

それでも、差別防止のために公的な

規制が実り多く、意義深いものになりましたことと、ご参加いただきました。

本日は、ご出席いただき、誠に

ありがとうございました。

（3面へ続く）